

社団法人私立大学情報教育協会
平成 20 年度第 4 回経済学教育 FD/IT 活用研究委員会 議事概要

I. 日 時：平成 20 年 10 月 25 日(土) 午後 4 時 30 分から午後 7 時まで

II. 場 所：私立大学情報教育協会事務局会議室

III. 出席者：林委員長、碓井、児島、中嶋、山田、渡邊委員
井端事務局長、森下、恩田

IV. 議事内容

1. 経済学教育における学士力について

まず、事務局より、先回の作成した原案に対して全国の経済学担当教員へアンケートを実施、その回答結果を取りまとめたとの報告があった。資料として配布された回答結果一覧表を全委員で一瞥した。

次に、5 つの原案に対して寄せられた意見を参考に見直し作業を行なった。特に、実際の教育現場では達成目標としてレベルが高すぎるのではという多くの意見を確認し、この点を踏まえた再検討を実施した。

原案 1 は、マクロ・ミクロ経済学の枠組みだけと捉えがちになるので、「基礎的な理論」というような表現に改め、達成レベルを引き下げた。

原案 2 では、原案 4 との違いを明確にするため「経済データの統計的分析を援用」をここからはずし、「歴史・制度と今日の経済情勢の知識」に限定した。

原案 3 にあった意思決定は、新たな力を加えることで、経済政策だけに限定した。

原案 4 は、経済データの意味の理解と収集を追記するとともに、統計的分析では難しいということで「統計的な処理」に表現を改めた。

原案 5 は、異論が出やすい具体例を削除するとともに、「倫理的側面の重要性を理解できる」という表現に和らげた。

総合力として新たに 6 を設け、原案 3 に提示された「意思決定」をここに配置した。

最終的に、以下のような案に修正した。

経済学教育 FD/IT 活用研究委員会 2008 年 10 月 25 日

経済学 学士力 (案)

1. 理論：日常の経済生活や経済全体の基礎的な理論を理解できる。
経済の仕組みや動きを実体経済・金融の両面で、身の回りから国全体・世界全体まで相互依存関係として理論的に理解できる。
2. 歴史：経済の歴史や制度と今日の経済情勢の知識を身に付ける。
過去から現在に至る経済の歴史や制度を踏まえ、資料を援用して、現実の経済情勢を客観的に理解できる。
3. 政策：国内外のさまざまな経済政策の基礎的な知識を理解できる。
4. 分析技能：経済データの意味を理解し、必要なデータを収集・整理して、統計的な処理ができる。
5. 経済倫理：現代社会の経済問題の倫理的側面の重要性を理解できる。
6. 総合力：経済問題を総合的に分析し、自主的な意思決定に活用できる。

本日の審議を踏まえ、1 週間を目途として各委員がこの原案に対する社会人の反応を伺うということが要請された。